

ふじのくにの“みちづくり”

中間評価の方針について

平成27年3月11日

静岡県 交通基盤部 道路局 道路企画課 調整班

目次

- 1 ふじのくにの“みちづくり”の概要
- 2 道路重点計画の取組状況
 - (1) 重点施策の取組状況
 - (2) 数値目標の実績
 - (3) 地域の声(みち～満ち・充ちミーティング)
- 3 道路を取り巻く背景の変化
- 4 中間評価の方針

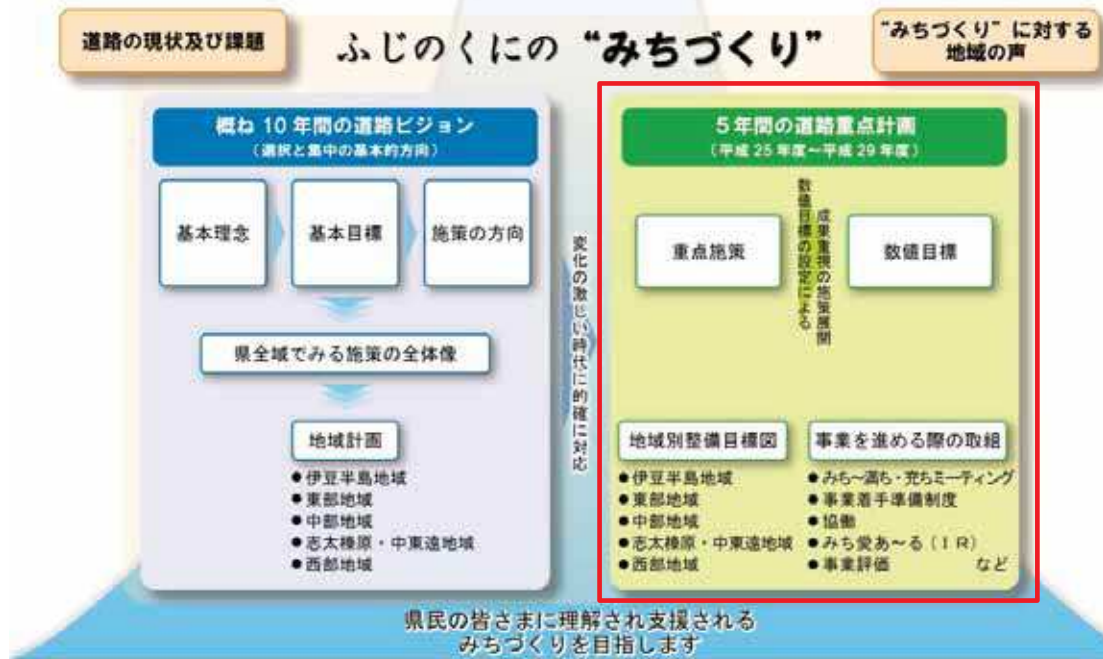
1 ふじのくにの“みちづくり”の概要 ～背景と目的～



- 道路を取り巻く背景が大きく変化している状況を踏まえ、新たな計画となる「ふじのくに“みちづくり”」を平成25年7月に策定
- 静岡県では、本計画に沿って“みちづくり”を進め、「富国有徳の理想郷“ふじのくに”」づくりに努めている

1 ふじのくにの“みちづくり”の概要 ～計画の構成と期間～

- 概ね10年間の「道路ビジョン」と5年間の「道路重点計画」で構成
- 「道路ビジョン」は、概ね10年間のみちづくりの施策や事業の選択と集中の方向を示す
- 「道路重点計画」は、平成25年度から平成29年度の5年間に取り組む施策や目標を示す
- 「道路重点計画」に掲げる数値目標などは、毎年検証を行い、有識者や県民の意見を参考にしながら評価を実施し、必要に応じて計画を見直す



ビジョンの視点

- ◆道路マネジメントの積極的な推進と柔軟な投資



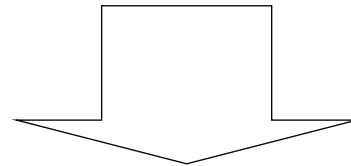
	平成25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35年度
道路ビジョン	概ね10年間の道路ビジョン										
道路重点計画	5年間の道路重点計画										
検証		△	△	△	△	△					
評価			○		○						

中間評価

1 ふじのくにの“みちづくり”の概要 ～中間評価スケジュール～

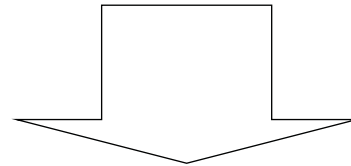
● 第6回審議会（平成27年3月11日）

- ・ 道路重点計画の取組状況等、中間評価に関する県の考え方の報告
→ 審議会の意見、助言



● 第7回審議会（平成27年度上半期予定）

- ・ 中間評価「素案」の報告
→ 審議会での審議



● 第8回審議会（平成27年度下半期予定）

- ・ 中間評価「案」の報告
→ 審議会での審議、承認を得て公表

1 ふじのくにの“みちづくり”の概要 ～中間評価の実施にあたり～

取組状況と中間評価の手法(案)

○ 道路重点計画の取組状況

1) 重点施策の取組状況(代表事例)

2) 数値目標の実績

3) 地域の声(みち～満ち・充ちミーティング)

○ 道路を取り巻く背景の変化

2 道路重点計画の取組状況 (1) 重点施策の取組状況

基本理念

東海道新時代を拓くふじのくにの“みちづくり”

取組状況紹介
整備効果検証

基本目標

施策の方向

重点施策

命と暮らしを守る

- 災害に強く信頼性の高いみちづくり
- 安全な生活を実現するみちづくり

地域の自立の実現

- 多様な交流や経済活動を支えるみちづくり
- 地域の生活と自立を支援するみちづくり

豊かさの実現

- 美しい景観と潤いある環境を確保するみちづくり

重点的に取り組む具体的施策

- ①高規格幹線道路の未整備区間の解消
- ②地域の孤立等を防止する防災機能の強化
- ③安全な道路環境を確保する交通安全対策
- ④道路施設の適切な維持管理
- ⑤幹線道路ネットワークの構築
- ⑥交通円滑化を図る渋滞対策等
- ⑦景観や自然環境に配慮した道路整備
- ⑧身近な道路環境の改善

2 道路重点計画の取組状況 (1) 重点施策の取組状況

命と暮らしを守る

① 高規格幹線道路の未整備区間の解消

伊豆縦貫自動車道 高規格幹線道路の整備促進

整備中



伊豆縦貫自動車道
全線開通時

沼津～下田
【整備前】
2時間10分

【整備後】
60分

東駿河湾環状道路
全線開通時

沼津～修善寺
【整備前】
56分

【整備後】
30分



整備効果① 広域ネットワークの形成
関東方面や名古屋方面と伊豆地域の連携強化

沼津IC
44分→30分
大平IC
14分短縮

整備効果② 適切な交通分担の実現
沼津・三島都市圏内の渋滞が緩和

沼津・三島都市圏内の渋滞損失時間
10%削減

整備効果③ 伊豆地域の観光振興支援
伊豆半島への円滑なアクセスが可能に

八王子
3時間10分→1時間40分
修善寺
首都接近



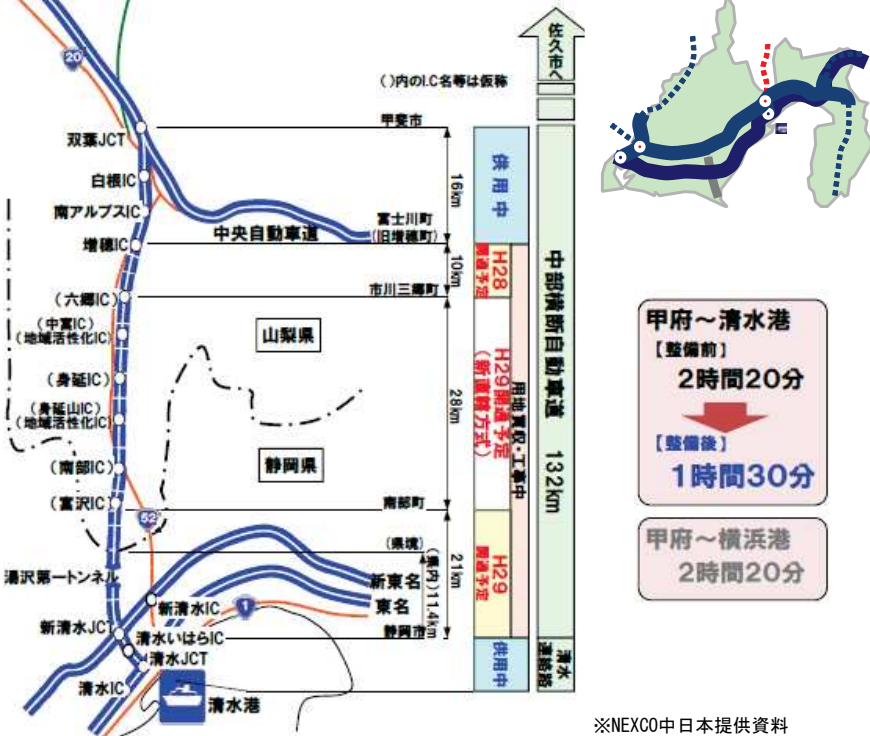
※圏央道、相模原～八王子開通後

2 道路重点計画の取組状況 (1) 重点施策の取組状況

命と暮らしを守る

① 高規格幹線道路の未整備区間の解消

中部横断自動車道 高規格幹線道路の整備促進



興津川橋工事状況 (静岡市清水区)



吉原VA工事状況 (静岡市清水区)

三遠南信自動車道 高規格幹線道路の整備促進



浜松いなさJCT付近
(浜松市北区)



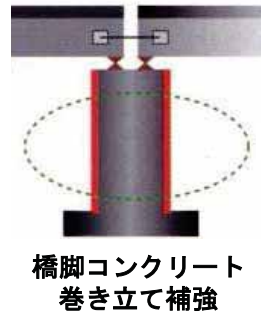
佐久間第1トンネル工事状況
(浜松市天竜区)

2 道路重点計画の取組状況 (1) 重点施策の取組状況

命と暮らしを守る

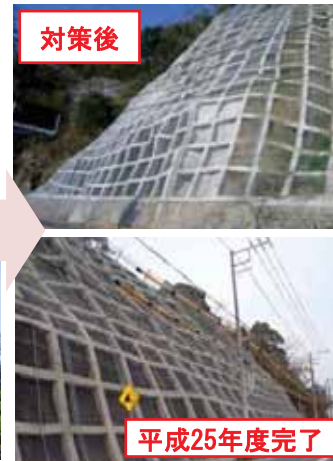
②地域の孤立等を防止する防災機能の強化

県道富士由比線（富士川橋） 橋梁の耐震対策（橋脚補強）



- 【整備効果検証】
- ・地域の声のヒアリング
 - ・耐震性能値の向上 など

国道135号（伊東市御石ヶ沢） 法面等の防災対策



- 【整備効果検証】
- ・地域の声のヒアリング
 - ・交通障害の発生状況検証 など

道の駅「富士川楽座」（県道富士川身延線）外 防災機能の強化（道の駅の防災拠点化）

整備中



静岡県管理道路に隣接する「道の駅」
12箇所を整備中

2 道路重点計画の取組状況 (1) 重点施策の取組状況

命と暮らしを守る

③安全な道路環境を確保する交通安全対策

県道榛原金谷線（牧之原市静波） 通学路の歩道整備

完了



〔整備効果検証〕

- ・地域の声のヒアリング
- ・事故率の検証 など

県道稲取港線（東伊豆町稲取） 路側帯カラー舗装

完了



〔整備効果検証〕

- ・地域の声のヒアリング
- ・事故率の検証 など

県道富士清水線（沼津市松長） 通学路の安全点検



事故現場

平成26年4月10日 登校中の児童が車が突っ込む（児童1人死亡、1人軽傷）

居眠り、脇見の可能性も

現場キレイも痕なし

登校児童に車2人死傷

○通学路の安全点検の実施



○交通安全対策



対策後

関係機関の連携による
交通安全対策検討、及び
速やかな対策実施

（対策内容）

- ・交差点部にカラー舗装を実施
- ・横断歩道を抹消

2 道路重点計画の取組状況 (1) 重点施策の取組状況

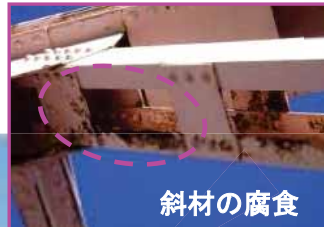
命と暮らしを守る

④道路施設の適切な維持管理

国道150号（掛塚橋） 橋梁の補修

整備中

補修前



補修状況



桁下の補修状況

工事状況（平成28年度完成予定）

国道136号（伊豆の国市白山堂） 舗装の補修

完了

補修前



クラック発生



補修後



〔整備効果検証〕

- ・地域の声のヒアリング
- ・路面性状値の検証 など

道路施設の適切な維持管理の取組 道路施設の維持管理体制の強化等



静岡県メンテナンス会議の設置



横断歩道橋の撤去に関する手引き策定
（平成26年12月）

2 道路重点計画の取組状況 (1) 重点施策の取組状況

地域の自立の実現 ⑤ 幹線道路ネットワークの構築 (地域高規格道路の整備)

金谷御前崎連絡道路

整備中

国道473号 金谷相良道路II(島田市菊川～菊川市倉沢)



新東名高速道路と国道1号、富士山静岡空港、東名高速道路、御前崎港が連結

例えば・・・
新東名高速道路～御前崎港
(島田金谷IC)

【整備前】 73分

約30分短縮

【整備後】 42分



静岡東西道路

整備中

国道1号 静清バイパス(静岡市駿河区～静岡市清水区)



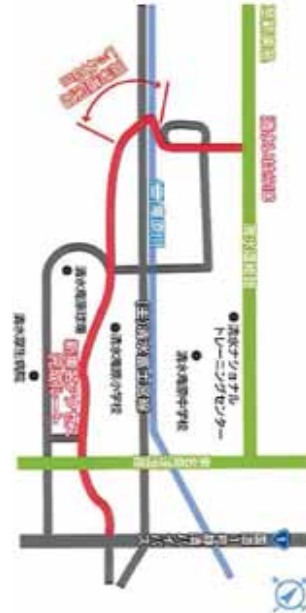
※国土交通省静岡国道事務所資料

2 道路重点計画の取組状況 (1) 重点施策の取組状況

地域の自立の実現 ⑤ 幹線道路ネットワークの構築 (高規格幹線道路アクセス道路整備)

県道清水富士宮線 (静岡市清水区)

バイパス整備 **整備中**



※静岡市提供資料

県道大岡元長窪線(長泉町下長窪～沼津市足高) 道路新設

整備中



県道焼津森線(藤枝市下当間) 道路拡幅(4車線化)

整備中



平成26年度部分開通(平成29年度完成予定)

2 計画の取組状況 (1) 重点施策の取組状況

地域の自立の実現 ⑥交通円滑化を図る渋滞対策等（長大橋の整備、主要渋滞ポイント等の渋滞対策）

県道島田吉田線（はばたき橋） 長大橋の整備

完了

平成25年8月3日開通



[整備効果検証]

- ・地域の声のヒアリング
- ・渋滞状況の検証 など

国道150号焼津～牧之原間バイパス 県道焼津榛原線（吉田町川尻～住吉）工区 渋滞対策（バイパス整備）

整備中



国道150号富士見橋
（大井川渡河部）付近



平成26年3月28日部分開通



2 道路重点計画の取組状況 (1) 重点施策の取組状況

地域の自立の実現 ⑥交通円滑化を図る渋滞対策等 (主要渋滞ポイント等の渋滞対策)

県道島田吉田線 (吉田町片岡) 渋滞対策 (バイパス整備)

完了



[整備効果検証]

- ・地域の声のヒアリング
- ・渋滞状況の検証 など

現道の渋滞状況



平成26年11月11日開通



国道362号羽鳥～安西拡幅(静岡市葵区) 渋滞対策 (バイパス整備)

整備中



平成27年1月6日暫定開通



※静岡市提供資料

2 道路重点計画の取組状況 (1) 重点施策の取組状況

地域の自立の実現 ⑥交通円滑化を図る渋滞対策等 (主要渋滞ポイント等の渋滞対策、スマートICの整備)

遠州鉄道鉄道線・都市計画道路有玉南中田島線

(浜松市中区)

整備中

渋滞対策 (連続立体交差)



※浜松市提供資料

高速道路へのスマートICの整備

整備中

■ 期待される効果

- ① 災害発生時に迅速な物資輸送や救援活動が実現可能に
- ② 救急医療機関への搬送時間が短縮
- ③ 地域産業の活性化
- ④ 周辺観光施設へのアクセス向上による、観光客の増加

遠州森町スマートIC (平成26年3月29日開通)



スマートインターチェンジ

県内全13箇所

<供用中5箇所 事業中8箇所>



供用中
SIC

事業中
SIC

2 道路重点計画の取組状況 (1) 重点施策の取組状況

地域の自立の実現 ⑥交通円滑化を図る渋滞対策等 (すれ違い困難箇所の解消)

国道362号青部バイパス(川根本町元藤川～青部) バイパス整備

整備中



開通区間の状況



平成26年10月21日 部分開通 (藤沢橋)

国道469号下稲子Ⅱバイパス (富士宮市下稲子) バイパス整備

完了



平成26年12月22日開通

[整備効果検証]

- ・地域の声のヒアリング
- ・旅行速度の検証 など

2 道路重点計画の取組状況 (1) 重点施策の取組状況

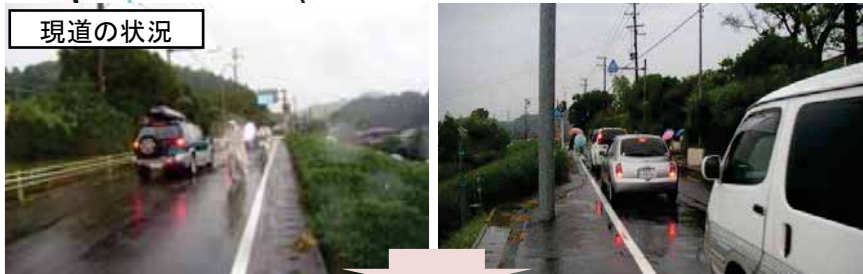
地域の自立の実現 ⑥交通円滑化を図る渋滞対策等 (すれ違い困難箇所の解消)

県道吉田大東線 (菊川市吉沢) バイパス整備

完了



現道の状況



平成26年12月19日開通



[整備効果検証]

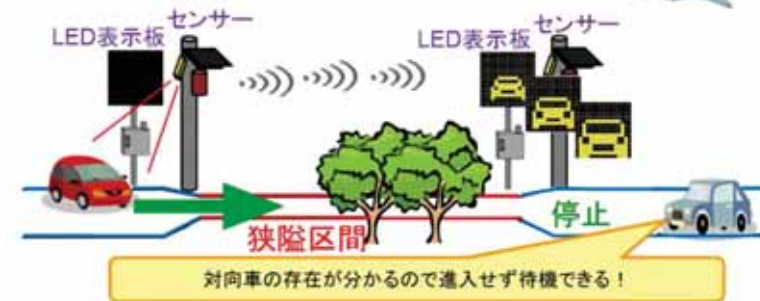
- ・地域の声のヒアリング
- ・旅行速度の検証 など

県道川根寸又峡線 (本川根町) 外 ITSの活用

完了

(ゆずりあいロード支援システム導入)

システム概要図



ゆずりあいロード支援システム設置状況



すれ違い困難箇所の手前に表示器を設置し、点灯により対向車接近を知らせます。



[整備効果検証]

- ・地域の声のヒアリング
- ・利用者アンケート など

2 道路重点計画の取組状況 (1) 重点施策の取組状況

豊かさの実現 ⑦ 景観や自然環境に配慮した道路整備

国道135号（熱川大橋） 周辺と調和した色彩選定（橋梁補修）



周辺自然環境に溶け込む景観の形成



国道301号（湖西市新居） 完了（予定） 無電柱化の推進（歩道及び電線共同溝整備）



整備前



※湖西市新居町観光協会資料

国指定特別史跡「東海道新居関所」など周辺施設との一体整備による、**道路景観向上**と**歩行空間の確保**

富士山スカイライン（県道富士公園太郎坊線） ふじあざみライン（県道足柄停車場富士公園線） 富士山マイカー規制



路上駐車が発生

駐車場でバス・タクシーに乗り換え



整備中

工事状況（平成26年度完成予定）



[整備効果検証]

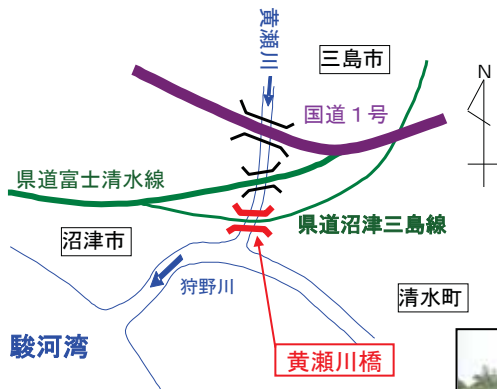
- ・地域の声のヒアリング
- ・事故率の検証 など

2 道路重点計画の取組状況 (1) 重点施策の取組状況

豊かさの実現 ⑧身近な道路環境の改善

県道沼津三島線 黄瀬川橋 (沼津市大岡～清水町長沢) 橋梁の架替

完了



- [整備効果検証]
- ・地域の声のヒアリング
 - ・事故率の検証
- など



国道150号 (磐田市豊岡) 自動車騒音軽減 (低騒音舗装)

完了



- [整備効果検証]
- ・地域の声のヒアリング
 - ・騒音低減効果の検証
- など



県道沼津小山線 (裾野市岩波) 道路用地の有効活用 交差点改善 (右折車線整備)

完了



電柱の移設、道路用地内の幅員構成見直しにより右折車線を整備



- [整備効果検証]
- ・地域の声のヒアリング
 - ・渋滞長の検証
- など



2 道路重点計画の取組状況 (1)重点施策の取組状況(総括)

道路重点計画に掲げる主な事業箇所の整備目標達成状況を評価するため、**主要179事業**の進捗状況を検証する

進捗状況検証

目 標 本	重点施策 構成施策	主要事業箇所数				計画期間内 完了予定数	進捗状況等(平成26年度末)	
		全体	国・NEXCO	県	政令市		着手	完了
命と暮らしを守る	1. 高規格幹線道路の未整備区間の解消	9	9	0	0	2		
	①高規格幹線道路の整備	(9)	(9)	(0)	(0)	(2)		
	2. 地域の孤立等を防止する防災機能の強化	19	0	11	8	16		
	②橋梁の耐震対策	(11)	(0)	(7)	(4)	(10)		
	③法面等の防災対策(孤立防止対策)	(8)	(0)	(4)	(4)	(6)		
	3. 安全な道路環境を確保する交通安全対策	21	0	16	5	13		
	④交通事故対策	(2)	(0)	(2)	(0)	(1)		
	⑤歩道の整備	(19)	(0)	(14)	(5)	(12)		
	4. 道路施設の適切な維持管理	5	0	3	2	5		
	⑥道路構造物の長寿命化	(5)	(0)	(3)	(2)	(5)		
地域の自立の実現	5. 幹線道路ネットワークの構築	27	1	18	8	13		
	⑦地域高規格道路の整備	(2)	(1)	(1)	(0)	(1)		
	⑧高規格幹線道路や空港等へのアクセス道路の整備	(25)	(0)	(17)	(8)	(12)		
	6. 交通円滑化を図る渋滞対策等	90	18	49	23	39		
	⑨長大橋の整備	(2)	(0)	(2)	(0)	(1)		
	⑩主要渋滞ポイント等の渋滞対策	(40)	(9)	(15)	(16)	(12)		
豊かさの実現	⑪スマートICの整備	(9)	(9)	(0)	(0)	(8)		
	⑫すれ違い困難箇所の解消	(39)	(0)	(32)	(7)	(18)		
	7. 景観や自然環境に配慮した道路整備	4	0	4	0	1		
	⑬無電柱化対策	(2)	(0)	(2)	(0)	(1)		
	⑭富士山マイカー規制	(2)	(0)	(2)	(0)	—		
	8. 身近な道路環境の改善	4	0	4	0	3		
⑮低騒音舗装	(2)	(0)	(2)	(0)	(2)			
⑯身近な生活道路の環境改善	(2)	(0)	(2)	(0)	(1)			
合 計		179	28	105	46	92		

2 道路重点計画の取組状況 (2) 数値目標の実績

みちづくりの効果を表す数値目標として、13の指標を設定しており、達成度を検証する

ふじのくにの“みちづくり”13の指標の実績

達成度検証

目基 標本	評価指標	基準値 (年度)	目標値 (目標年度)	実績 (平成25年度末)		実績(平成26年度末)		
				実績値	評価	実績値	評価	分析
命と暮らしを守る	高規格幹線道路の供用率 [高規格幹線道路の整備計画区間のうち、供用している道路の割合]	77.30% (H24)	82.10% (H29)	78.00%	↑			
	南北幹線道路の供用率 [南北方向の高規格幹線道路及び地域高規格道路の整備計画区間のうち、供用している道路の割合]	40.20% (H24)	53.90% (H29)	42.10%	↑			
	重要路線等にある橋梁の耐震化率 [古い基準を適用した重要路線等にある橋梁のうち、耐震対策を実施した橋梁の割合]	4割※ (H24)	100% (H34)	約5割	↑			
	道路斜面の要対策箇所の対策率 [緊急輸送路上の事前通行規制区間内にある、H8防災点検要対策箇所の対策率]	61.50% (H24)	83.40% (H34)	62.00%	↑			
	通学路の歩道整備率 [県管理道路の通学路のうち、歩道整備済(簡易整備を含む)の道路延長の割合]	71.00% (H24)	75.00% (H29)	集計中	—			
	事故危険箇所の死傷事故抑止率 [県管理道路の事故危険箇所のうち、交通事故対策が実施された箇所において抑止される死傷事故件数の割合]	—	約3割抑止 (H29)	—	—			
	道路100km当たりの道路管理瑕疵事故件数 [県管理道路延長100kmあたりの、直近5年間の平均瑕疵事故件数]	1.29件/年 (H24)	1.22件/年 (H29)	1.2	↑			
	第3次救急医療機関への30分到達圏人口カバー率 [第3次救急医療機関に30分以内で到達できる人口の割合]	77.10% (H24)	81.20% (H29)	77.1	→			

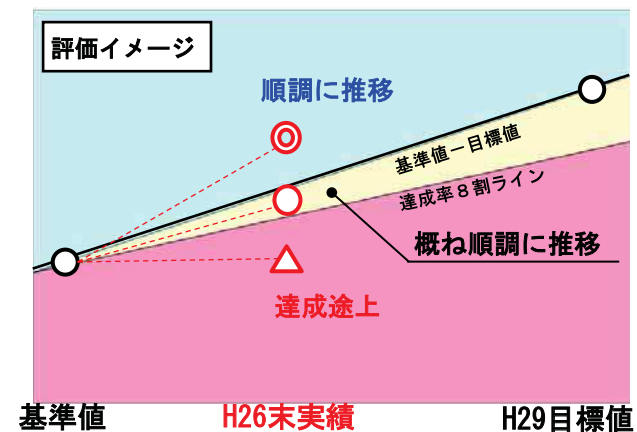
※静岡県第4次地震被害想定に基づく緊急輸送路の見直しにより確定

2 道路重点計画の取組状況 (2) 数値目標の実績

目 基 標 本	評価指標	基準値 (年度)	目標値 (目標年度)	実績 (平成25年度末)		実績 (平成26年度末)		
						実績値	評価	分析
地域の自立の実現	高規格幹線道路の供用率 (再掲) [高規格幹線道路の整備計画区間のうち、供用している道路の割合]	77.30% (H24)	82.10% (H29)	78.00%	▲			
	南北幹線道路の供用率 (再掲) [南北方向の高規格幹線道路及び地域高規格道路の整備計画区間のうち、供用している道路の割合]	40.20% (H24)	53.90% (H29)	42.10%	▲			
	中心都市等への30分行動圏人口カバー率 [地域の中心都市かつ高規格幹線道路のインターチェンジに30分以内で到達人口の割合]	93.20% (H24)	93.90% (H29)	93.80%	▲			
	主要な渋滞箇所の渋滞削減率 [主要な渋滞箇所のうち、渋滞対策の実施で削減される損失時間の割合]	—	約2割削減 (H29)	集計中	—			
	高速道路の平均IC間隔 [東名高速道路及び新東名高速道路におけるIC間の平均距離]	11.6km (H24)	9.2km (H29)	11.2km	▲			
豊かさの実現	幹線道路における無電柱化率 [用途地域内の国・県道のうち、無電柱化されている道路延長の割合]	20.30% (H24)	22.70% (H29)	21.00%	▲			
	運輸部門のCO2排出量 [県内の運輸部門のCO2排出量]	6,679 千t-CO2 (H22)	4,212 千t-CO2 (H32)	集計中	—			

中間評価の基準 (案)

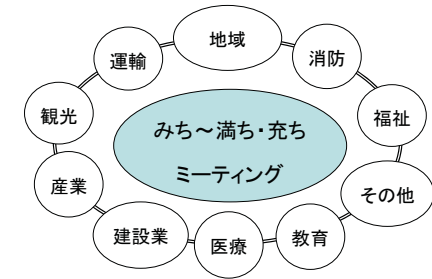
◎	順調に推移 (評価年次での達成率が10割を上回る)
○	概ね順調に推移 (評価年次での達成率8割程度以上)
△	達成途上 (評価年次での達成率8割程度未満)



2 道路重点計画の取組状況 (3) 地域の声(みち～満ち・充ちミーティング)

みち～満ち・充ちミーティング

「みち～満ち・充ちミーティング」は、道路に関する各種事業や取組を紹介し、住民や関係団体等との意見交換を通して、**道路に対する様々な意見を頂くことを目的**に開催。平成21年度以降、延べ85回開催。



(意見交換の様子)

主な意見

- ・ 新東名が開通して**定時制が確保**されるなど便利になった
- ・ 東駿河湾環状道路が開通し、**利便性が向上**した
- ・ **伊豆縦貫自動車道**の早期全線整備が望まれる
- ・ 新東名が開通して便利になったが、大雪や台風の影響を受けており、**災害時の備えや大雪など異常気象時の情報発信**などが必要
- ・ 企業では事業継続計画（BCP）策定の必要があることから、**橋梁の耐震対策完了箇所を公表**してほしい
- ・ **避難路看板設置や災害時における道路の情報発信**など、安全を確保し、命を守るために何ができるのか考える必要がある
- ・ **ゲリラ豪雨に備えた対策**が必要



命と暮らしを守る

2 道路重点計画の取組状況 (3)地域の声(みち～満ち・充ちミーティング)

- ・ 道路の安全確保のためには、**運転者教育や学校の安全教育**が重要
- ・ 通学児童の安全確保のため、**歩道の充実**が必要
- ・ 幹線交通との分離により、**生活道路の安全確保**を図る必要がある
- ・ 舗装補修など**道路施設の維持管理**を確実にお願いしたい
- ・ 少子高齢化が進む中、**道路をつくるだけでなく減らすことも考える必要**



命と暮らしを守る

- ・ 伊豆半島では伊豆縦貫自動車道とともに**アクセス道路整備**が重要
- ・ **高規格幹線道路へのアクセス道路整備**による物流効率化を図る必要
- ・ **渋滞解消**のための道路整備が必要
- ・ 幹線道路の渋滞緩和のため、交通量の少ない道路に**交通分散させる案内や広報**が必要



地域の自立の実現

- ・ 土地勘のない観光客のため、**わかりやすい案内標識**が必要
- ・ 富士山が世界文化遺産に登録されるなど、**景観面の配慮**も必要
- ・ **観光に寄与する道路整備**をお願いしたい



その他

- ・ **道路工事の情報**が不足している
- ・ **道路整備は着実に進んでいる**と感じている



豊かさの実現

地域のニーズを把握し「みちづくりの施策」を検証

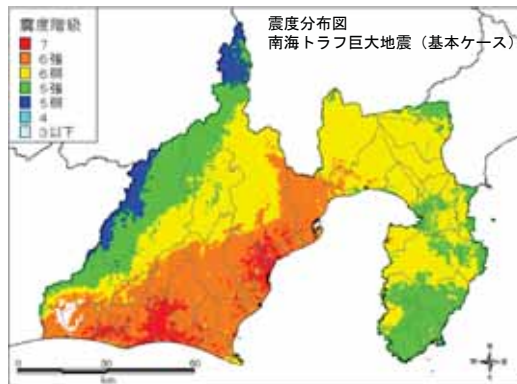
3 道路を取り巻く背景の変化

静岡県第4次被害想定公表

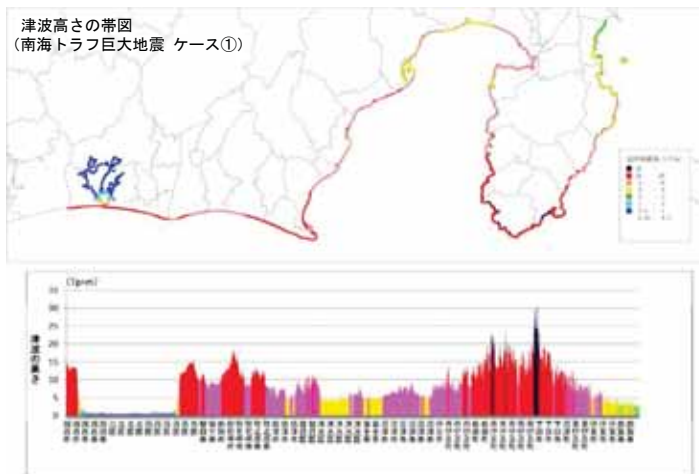
■ 静岡県第4次被害想定

東日本大震災等の教訓を生かし、レベル1・レベル2の地震・津波を想定し、今後の地震・津波対策の基礎資料

○ レベル2の地震（南海トラフ巨大地震）での推定震度



○ レベル2の地震（南海トラフ巨大地震）の津波高さ



静岡県第4次被害想定より

道路の老朽化対策の本格実施

「最後の警告—今すぐ本格的なメンテナンスに舵を切れ」

- 今後、全国的に**社会資本の高齢化（老朽化）**が急速に進行
- 老朽化対策の本格実施に向けて、地方公共団体に**3つの課題（予算不足・人不足・技術力不足）**

- 中央自動車道（笹子トンネル）トンネル板崩落状況（平成24年12月2日）



- 道路法等の一部改正や省令・告示により、**橋梁・トンネル等の5年に1回の近接目視点検が義務化**（道路法施行規則の一部改正等 平成26年7月1日施行）

- 「道路の老朽化対策の本格実施に関する提言」において、**「道路メンテナンス会議」の設置が提案された**

（具体的な取組）

- ・ メンテナンスサイクルを確定
道路管理者の責任による点検→診断→措置→記録
- ・ メンテナンスサイクルを回す仕組みを構築

社会資本整備審議会道路分科会資料より

○ 静岡県の取組

- ・ 道路施設長寿命化緊急対策（平成22年度～28年度）の実施
※橋梁・舗装・トンネル設備を対象
- ・ 静岡県メンテナンス会議の設置
- ・ 中長期管理計画の更新（橋梁・舗装）、新規策定（トンネル）

3 道路を取り巻く背景の変化

無電柱化に関する最近の動向

- 道路の防災上の向上、安全で快適な通行空間の確保、良好な景観の形成や観光振興等の観点から無電柱化を推進

【無電柱化の目的】



<電柱の倒壊による道路閉塞>



<歩行の支障となる電柱>



<美観を損ねる電柱・電線>

【本格的に無電柱化を推進するための方向性】

新たな無電柱化推進計画を策定し、同時整備の実施、道路占用制限の実施、低コスト手法の導入等により、本格的な無電柱化を推進

- 道路の新設、拡幅等を行う際に**同時整備**を推進するとともに、併せて緊急輸送路における新設電柱の占用制限に着手
- 直接埋設や小型BOX活用方式等**低コスト手法**の導入、及び**直接埋設**の普及促進の仕組みを構築
- 地域との連携を強化するため、地上機器の民地への設置等**地域の協力**が得られる仕組みや、計画策定の際に**地域の声**が反映される仕組みを構築
- 「**電柱が無いことが常識**」となるように国民の理解を深める情報発信を推進



電力線が直接埋設された例（ロンドン）



民地を活用した地上機器の設置

無電柱化推進
検討会議資料より

トピックス

県道三保駒越線 無電柱化の推進の取組

- 国道150号から三保松原にアクセスする**三保街道からの富士山眺望景観の改善**のため、県は、早期の無電柱化実現に向けて道路管理者の静岡市に支援・協力

【支援・協力内容】

- 県道三保駒越線の無電柱化方針の取りまとめ
- 電線管理者との協議調整



速効対策及び抜本対策イメージ



平成27年2月23日
撤去開始

3 道路を取り巻く背景の変化

2020年東京オリンピック・パラリンピック開催

2020年オリンピック・パラリンピックの東京開催が決定



公益財団法人東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会HPより

道路交通法の改正(ラウンドアバウト関連)

環状交差点の交通方法の特例に関する規定が整備

環状交差点を通行する時は?
あらかじめできる限り道路の左側に寄り、徐行して進入してください。環状交差点内は、右回り(時計回り)に通行し、できる限り環状交差点の側端に沿って徐行しなければなりません。

車両の優先関係は?
環状交差点においては、環状交差点内を通行している車両等が優先ですので、交差点内を通行する車両等の進行を妨げてはいけません。

歩行者に注意を!
特に歩行者に注意

環状交差点を出る時は?
出ようとする地点の直前の出口の側方を通過したとき(環状交差点に入った直後の出口を出る場合には、その環状交差点に入ったときに)、左側の方向指示器を操作し、交差点を出るまで合図を継続しなければなりません。



関方交差点(焼津市)
平成26年9月1日指定

平成26年9月1日施行

警察省資料より

トピックス

県道朝霧富士宮線 ラウンドアバウトの試験導入

■ 世界文化遺産富士山の構成資産「白糸ノ滝」の入口である県道朝霧富士宮線(富士宮市上井出)にラウンドアバウトを試験導入するとともに、無電柱化を推進

【ラウンドアバウトの試験導入】

【期待される効果】

- ① 出合頭事故の発生抑制
- ② 無駄な信号待ちの解消
- ③ 白糸ノ滝へのシンボルゲート機能
- ④ 無電柱化計画との整合(信号撤去)等



【無電柱化の推進】



整備前



整備後イメージ

4 中間評価の方針

中間評価の実施内容（案）

● 「道路重点計画の取組状況」の検証

1) 重点施策の取組状況検証

完了箇所の整備効果検証、主要事業進捗状況の検証

2) 数値目標の実績検証

13の指標の達成度を検証

3) 地域の声（みち～満ち・充ちミーティング）の検証

地域のニーズを把握し「みちづくりの施策」を検証

● 「道路を取り巻く背景の変化」の検証

“みちづくり”に密接に関連する事項について、計画への反映を検討

中間評価

今後の施策に反映